

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第7回 理事会

平成23年5月13日（金）14:00～16:00

県庁3階 第5会議室

議事次第

1 開会、出席者数の確認

2 議事

(1) 理事の紹介及び委員会について

(2) 平成22年度事業報告（資料1）

(3) 平成23年度事業計画（資料2、資料2-1）

①八重山サンゴ礁保全協議会主催のイベントへの協賛、共催

(4) 第4回総会について（資料3、4）

①議案、②日程、③会場、④進め方、⑤その他

(5) 三井物産環境基金による「久米島応援プロジェクト」（資料5）

(6) その他

①海域公園の指定拡大のボトムアップを図ることについて

②県のH21のサンゴ礁調査の結果の報道について

③旅費支給方法について

④その他

(7) サウジアラムコからの基金について（資料6、7）

3 閉会

資料一覧

- 資料1：平成22年度事業報告
資料2：平成23年度事業計画
資料3：第4回総会議案(案)
資料4：第4回総議事次第(案)
資料5：サウジアラムコからの基金受け入れの経緯
資料6：サウジアラムコからの基金運用について
参考資料：沖縄県サンゴ礁推進協議会規約

役員名簿

役職	名前	
会長	中野 義勝	
副会長	西平 守孝	
理事	泡瀬干潟を守る連絡会	桑江 直哉
	上里 幸秀	
	エコガイドカフェ	猪澤也斗志
	沖縄エコツーリズム推進協議会	平井 和也
	沖縄県漁業協同組合連合会	上田邦太郎
	沖縄県自然保護課	富永 千尋
	沖縄県ダイビング安全対策協議会	案納昭則
	鹿熊信一郎	
	梶原 健次	
	環境省那覇自然環境事務所	山脇 一浩
	後藤 亜樹	
	コーラルクエスト	岡地 賢
	桜井 国俊	
	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子
	NPO 法人グローイングコーラル	上原 直
	渡嘉敷ダイビング協会	平田 春吉
	中谷 誠治	
八重山サンゴ礁保全協議会	吉田 稔	
WWF ジャパン	安村 茂樹	
具志堅 宗弘		
監査役	沖縄県衛生環境研究所	仲宗根 一哉
	沖縄県環境整備課	比嘉 隆

平成 22 年度の活動報告

- (1) 理事会及び総会の開催
・第 6 回理事会開催（平成 22 年 6 月 14 日）

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第 6 回 理事会

平成 22 年 6 月 14 日（月）13:30～16:00

県庁 4 階 第 3 会議室

議 事 次 第

- 1 開会、出席者数の確認
- 2 議 事
 - (1) 平成 21 年度事業報告（資料 1）
 - ① 沖縄県のサンゴ礁についての現状取りまとめ
 - ② 沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案
 - ③ 自然資源に関する地域での意識調査
 - ④ 資金調達に関する戦略の検討
 - ⑤ その他活動に必要な事項
 - ⑥ 会計報告
 - (2) 平成 22 年度事業計画（資料 2）
 - (3) 第 3 回総会について（資料 3）
 - ① 議案
 - ② 日程
 - ③ 会場
 - ④ 費用
 - ⑤ 進め方
 - (4) 第 2 回選挙について（資料 4）
 - (5) その他
 - (6) 協議会運営における現状と課題
 - ① 各委員会の活動報告と課題
 - ・ 企画委員会
 - ・ 広報委員会
 - ・ 選挙管理委員会
 - ・ 資金調達委員会
 - ・ 運営委員会
 - ② 協議会及び各委員会の今後の進め方について
- 3 閉 会

- ・第3回総会開催（平成22年9月14日）

第3回総会議案書

- 第1号議案 平成21年度事業報告
- 第2号議案 平成21年度収支決算報告
- 第3号議案 平成22年度事業計画（案）
- 第4号議案 平成22年度収支予算（案）
- 第5号議案 第2回選挙結果
- 第6号議案 その他

（2）美ら海写真展への出展

沖縄県ダイビング安全対策協議会が主催し、夏休み期間中（平成22年7月14日～平成22年8月28日）に、那覇空港のウェルカムホームにて「3回美ら海写真展」開催。自然保護課が共催として、パネル展示を行った際、「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」のポスターを展示。また、パンフレット約200部を配布し、協議会のPRを行った。

(3) 海洋博研究センター サンゴシンポジウム (後援)

平成22年12月10日(金)に海洋博記念公園管理財団・総合研究センター主催で開催したシンポジウム「サンゴの移植-移植片の準備・移植とモニタリング・MPA」の後援を行った。シンポジウムでは、インドネシアで実施されているサンゴ礁保全活動の紹介や県内で行われている取り組み事例も紹介された。

海洋博研究センター サンゴシンポジウム
(財)海洋博覧会記念公園管理財団 総合研究センター / Ocean Exposition Commemorative Park Management Foundation General Research Center

サンゴの移植 ⑤
- 移植片の準備・移植とモニタリング・MPA -

パネル・ポスターなどの展示 10:00~16:30
(会議室・会場ロビー)
サンゴ礁保全やサンゴの移植活動に関連した取り組みなど、パネルやポスター・パンフレット・標本などの展示も可能です。展示やパンフレットなどの配布をご希望の方は、開始前に各自ご準備頂き、活動の紹介や宣伝あるいは情報交換・国際交流にご活用下さい。

日時：2010年12月10日(金)
10:00~16:00
会場：海洋博研究センター視聴覚室
参加費：無料

要 事前申し込み：定員約70名



コーディネーター：西平守孝(海洋博研究センター)
基調講演：(60分)
①Rahmadi Prasetyo (Bangun Citra Pesisir Co. Ltd. 沿岸開発企画コンサルタント)：インドネシアにおけるサンゴ移植活動の非成功例から学ぶこと
②I Wayan Patut (バリ・セララン島漁業グループ代表)：海中の保全活動によってセララン島を取り戻す
— 休憩10分 —
移植片の種苗生産(1)(60分)
①岡田 敏(沖縄開発(株))：移植サンゴの種苗生産
②比嘉義規(那覇村漁協)：サンゴの種苗生産・移植・モニタリング
③金城浩二(海の権)：サンゴの養殖と移植放流
— 昼食50分 —
移植片の種苗生産(2)(60分)
④上原 直(グローイングコーラル)：市民ベースのサンゴ礁保全活動について
⑤沖縄県水産課：沖縄県漁業調整規則：サンゴの採捕と移植に関する解説
⑥西平守孝(海洋博研究センター)：自然への負荷の少ない移植片の準備
— 休憩10分 —
モニタリングと海洋保護区(60分)
⑦魚田夏紀(チーム美らサンゴ)：サンゴの移植—長期的な取り組み
⑧藤原秀一・毛塚大輔(いであ)：着床具サンゴの移植とモニタリング
⑨鹿熊慎一郎(沖縄県)：サンゴ礁海域における海洋保護区(MPA)
— 休憩10分 —
総合討論：40分
司 会：中野義勝(琉大・熱生圏・瀬底研究施設)

主催：(財)海洋博覧会記念公園管理財団 総合研究センター
共催：名桜大学総合研究所
後援：沖縄県文化環境部・沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・日本サンゴ礁学会サンゴ礁保全委員会

(4) 環境フェア in とみぐすくへの出展

おきなわアジェンダ 21 県民会議では、県民一人ひとりが、自らのライフスタイルを見直し、環境保全に向けて主体的に取り組む契機とすることを目的に、子供から大人まで楽しく参加・体験できるイベントとして、毎年「県民環境フェア」を開催しています。平成 22 年度は、10 月 31 日に豊見城市の道の駅で開催されることに伴ない、第 2 回「あなたのサンゴ礁イメージ展」で応募いただいた作品を展示し、見学者に採点をお願いし、優秀賞、特別賞を選定した。

「あなたのサンゴ礁イメージ展」は、サンゴ礁をイメージする作品を作成することにより、自分たちのサンゴ礁を認識させ、将来的な保全意識の向上のきっかけにすることを目的に、平成 21 年度から、サンゴ礁をイメージする写真及び絵画を募集し、ユニークで優秀な作品を審査・選考している。

絵画の部：優秀賞 1 点、特別賞 2 点

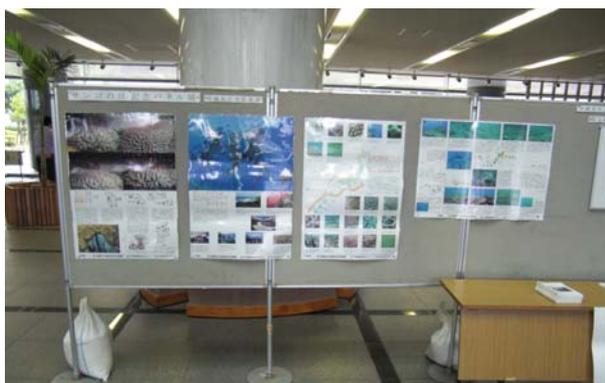
陸上写真の部：優秀賞 1 点

海上写真の部優秀賞 1 点



(5) サンゴの日パネル展

平成 23 年 3 月 5 日のサンゴの日に、県庁 1 階ロビーでパネル展を実施しました。自然保護課の作成したパネルや第 2 回「あなたのサンゴ礁イメージ展」に応募いただいた作品を展示しました。



平成 23 年度の活動計画

●平成 23 年度の実施期間

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

●平成 23 年度の活動予算

678,651 円

●平成 23 年度の活動計画案

- (1) 理事会及び総会の開催
- (2) 第 4 回美ら海写真展への出展
- (3) 環境フェアへの出展（第 3 回あなたのサンゴ礁イメージ展の実施）
- (4) サンゴの日パネル展

●平成 23 年度以降に取り組むべき課題（平成 22 年度の積み残し課題）

- (1) サウジアラムコからの寄付金の運用について
- (2) サンゴ礁保全推進協議会の普及啓発用パネルの作成について
- (3) 専門学校などとの連携による普及啓発用教材の作成について
- (4) サンゴ礁保全のための普及啓発シンポジウムの開催について

2011 年 5 月 3 日

八重山サンゴ礁保全協議会 代表 吉田 稔

企 画 書

【題名】

インプロと通して、サンゴ礁からの「御恩」と「御恩返し」を考える
—ワークショップ、インプロシアター「TILT」公演—

○日時：2011年9月17日（土曜日）

第一部 13時～17時 ワークショップ（八重山商工高と交渉中）

第二部 19時～21時 インプロシアター「TILT」公演（プロ集団による感動即興劇）

○場所：第一部 ワークショップ（環境省モニタリングセンター）予約済み

第二部 石垣市民会館中ホールは予約済み

○主催：八重山サンゴ礁保全協議会 <http://homepage3.nifty.com/sango-hozenkyou/>

○協賛：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会（予定）<http://www.strata.jp/sangokikin/>

○協力：インプロシアター「TILT」<http://www.impro-tilt.com/> その他プロの有志数名

○目的：八重山サンゴ礁保全協議会と演劇プロ集団のインプロシアター「TILT」が、協働しながらワークショップでは八重山商工生（40名程度）を、ライブでは地域住民への広くサンゴ礁保全のための啓蒙活動を行う。

○内容：

第一部 ワークショップ（13時～17時）場所：環境省モニタリングセンター

商工生40名がインプロシアター「TILT」と共に、サンゴ礁を主役にしたストーリーを作り、その恩恵（重要性、貴重性）を高校生自ら即興劇をつくり体感する。そして、わかちあい、ふりかえりを行い自分たちが何をしていくべきか（御恩返し）を考え、その自発的な行動を築く。

第二部 インプロ公演（19時～21時）場所：石垣市民会館中ホール（200名程度収容）

現役プロ集団のインプロシアター「TILT」のパフォーマンス「YOUR STRY～海の思い出」を観劇。サンゴ礁、海などに関する題材をすべて客席から頂き、その場で作り上げていく笑いと涙と感動のライブを実施する。

○備考

劇団員9名は、アゴアシだけで東京来てもらいます。ゆえに予算は60万円助成希望。 以上

第 4 回 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会総会

日時 2011(平成 23)年 6 月**日
13 時 15 分～15 時 15 分
会場 *****

— 議案書 —

第1号議案 平成22年度活動報告

平成22年度は下記の内容について活動を実施。(詳細は参考資料参照)

- (1) 理事会及び総会の開催
- (2) 第3回美ら海写真展への出展
- (3) 海洋博研究センター サンゴシンポジウム (後援)
- (4) 環境フェア in とみぐすくへの出展 (第2回あなたのサンゴ礁イメージ展の実施)
- (5) サンゴの日パネル展

第2号議案 平成22年度収支決算報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日までの決算は下記のとおりです。

● 収入

1) 寄付	6,000 円
2) その他助成金等	50,955 円
3) 預金利息	91 円
4) 前年度繰越金	483,295 円

収入合計	540,341 円
-------------	------------------

● 支出

1) 活動費	
①サンゴ礁コンテスト実施費用	50,955 円
②アジェンダ負担金	5,000 円
③環境フェア出展費用	1,000 円
④切手代	4,000 円
⑤振込み手数料	630 円
⑥寄附金受け入れのための手数料	105 円
⑦次年度繰越金	478,651 円

支出合計	540,341 円
-------------	------------------

第3号議案 平成23年度活動計画(案)

平成23年4月1日～平成24年3月31日までの活動(案)は下記のとおりです。

- (1) 理事会及び総会の開催
- (2) 第4回美ら海写真展への出展
- (3) 環境フェアへの出展 (第3回あなたのサンゴ礁イメージ展の実施)
- (4) シンポジウムの開催

- (5) サンゴの日パネル展
- (6) パネル作成

第4号議案 平成23年度収支予算(案)

平成23年4月1日～平成24年3月31日までの予算(案)は下記のとおりです。

● 収入

1) その他助成金等	100,000 円
2) 寄付	100,000 円
3) 前年度繰越金	478,651 円

収入合計 678,651 円

● 支出

1) 活動費	166,000 円
・サンゴ礁コンテスト	(50,000 円)
・パネル作成費	(10,000 円)
・シンポジウム開催費	(100,000 円)
・アジェンダ21会費	(5,000 円)
・環境フェア出展費用	(1,000 円)
2) 会議費	50,000 円
3) 旅費	300,000 円
・理事会旅費	(200,000 円)
・シンポジウム旅費	(100,000 円)
4) 謝金	18,000 円
5) 次年度繰越金	144,651 円

支出合計 678,651 円

第5号議案 規約の改正(15条)

会長は、議案等に対し答弁する立場にあることから、下記のとおり、修正したい。

改正前	改正後
(総会) 4. 総会は会長が招集し、総会の議長は、会長がこれにあたる。	(総会) 4. 総会は会長が招集し、総会の議長は、理事の中から互選とする。

第6号議案 その他

資料 4

第 4 回 沖 縄 県 サ ン ゴ 礁 保 全 推 進 協 議 会 総 会

平成 23 年 * 月 * * 日 (*) ** : ** ~ ** : **

場所 : * * * *

議 事 次 第 (案)

司会 : 渡嘉敷 彰 (自然保護課)

- 1 開会挨拶 (中野 会長)
- 2 議 事
 - (1) 議長あいさつ ()
 - (2) 総会成立の確認
 - (3) 議事
 - ①第 1 号議案 (平成 22 年度事業報告)
 - ②第 2 号議案 (平成 23 年度事業について)
 - ③第 3 号議案 (平成 22 年度の決算報告)
 - ④第 4 号議案 (平成 23 年度の予算案)
 - ⑤第 5 号議案 規約の改正 (15 条)
 - (4) 報告事項
 - ①サウジアラムコからの寄付金について
- 3 閉会の挨拶 (富永 自然保護課長)

サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコからの寄付受け入れについて

平成 22 年 11 月 5 日

・サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社の担当者より、沖縄のさんご礁保全に携わる N P O に 5 万ドル～10 万ドルの範囲で、寄付をする計画が急遽浮上したことから、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会への寄付について打診があった。

平成 22 年 11 月 6 日～

・協議会理事等で議論した結果、寄付の背景、協議会に求めることなどの詳細をヒアリング等した上で、受け入れの可否について判断を行うこととした。

平成 22 年 11 月 12 日

・協議会理事等とサウジアラビア国営石油会社サウジアラムコ東京支社の担当者と、打ち合わせを行った。

①サウジアラムコは本年はじめ日本政府（経済産業省）と合意し、うるま市にある沖縄 C T S（原油貯蔵ターミナル）のタンクの一部を借り上げ、日本への石油安定供給に 1 万全を期すことになった。

②タンクへの貯油は早ければ年内、遅くも来年早々に開始される予定

③新たな施設建設や、周辺環境の開発等を行うものではない。

④11 月末には本国から基金の送金があるので、なるべく早く内容を決めたい

⑤基金の用途には「サンゴの保全活動」という縛りがあるが、細かい内容については応相談。期間は単年度でもよいし、複数年度でもかまわない。受ける側の義務としては、1 年度末の会計報告です。

平成 22 年 11 月 13 日～

・協議会には、いろいろな立場の方が参加していますが、推進協議会としての具体的な展開を図るためには当然資金も必要ですし、こういった機会を前向きにとらえることも大事など、理事の間で検討した結果、寄付を受け入れることとし、相手方に連絡済み（平成 22 年 11 月 17 日）

平成 22 年 11 月 20 日～

・協議会として、新たな基金設立委員会等を立ち上げるなど、今後の寄付の活用について検討していくこととしている。

平成 23 年 4 月 13 日～

・5 月末には、協議会口座に寄附金が振り込まれる予定と連絡があった。

サウジアラムコからの寄附金受け入れに伴う協議会での検討について(案)

1. 基金の運用について

理事等の中で、詳細を検討するためには、現実的に難しいと思うので、ある程度人数を絞って、方針を検討し、その後、理事等と調整する方が効率的と考えることから、しばらくは、運営委員会において作業を進める。

- ・ 助成先
 - 協議会会員に限定するのか、会員外も含めるのかなど
- ・ 助成対象の活動内容
 - サンゴ礁保全活動であれば、何でも OK とするのか。単なるサンゴ移植の可否などについてはどう判断するか
- ・ 助成金額、助成期間など
 - 1 団体あたりの助成上限、本要綱に基づく助成の期間など
- ・ 助成団体への助成について
 - 選定基準、選定方法、資金の支払い方法、精算方法等
- ・ 基金運営のための事務局の設置について
 - 事務手続きを堅実に行うためには、現在の本務の片手まで行う状況は、あまり好ましくない。基金運営のための事務局機能の外注などについて検討する。
- ・ 助成金交付要綱の作成
 - 上記の議論を踏まえ、基金の運用方針の検討、要綱(案)を作成する。